

図書館だより

枚方市立図書館通信第 63 号

枚方市立図書館のホームページでもご案内しています

平成 24 年 3 月 枚方市立中央図書館発行

〒573-1159 枚方市車塚 2-1-1(バス停「片鉾・中央図書館」前)

TEL 050-7105-8141 FAX 072-851-0962

中央図書館は毎週金曜・第 4 火曜休館

各分館は毎週月曜・第 3 木曜休館

図書館からのお知らせ

枚方市立図書館では、枚方市立図書館条例施行規則の改正にともない、平成 24 年 4 月 1 日から貸出期間の過ぎた資料をお持ちの利用者に対して下記の通り貸出しの制限がかかります。

- 1、期日までに資料をご返却いただくため、貸出期間を過ぎた資料の延長受付はできません。
- 2、返却期限から 60 日を超えて返却していない資料がある場合（長期の延滞）

- ① 予約取り置き資料を含めて、新たな貸出し等ができなくなります。

- ・ 予約取り置き資料は、通常 1 週間で取消になります。取り消しとなった場合、返却しても予約の復活はできません。予約は再度申し込んでください。
- ・ 予約の取り置き資料は予約された方の貸出カードでしか貸出しできません。
- ・ 予約取り置き資料の受け取り館変更はできません。

- ② インターネット予約の利用登録もできません。

平成 24 年 4 月 1 日以前に貸し出された図書等の延滞も含みます。返却が遅れている資料は、速やかに図書館にご返却ください。

また、図書館資料の弁償をお願いしているにもかかわらず、弁償資料をお持ちいただけない場合にも貸出しの制限を適用することがあります。

60 日を超えて延滞しているすべての資料を返却されたことが図書館で確認できた時点から、貸出しの制限を解除します。

図書館資料は市民の共有財産です。
みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

市史資料室よもやま話(最終回)

20 古文書から文字以外の情報を読む②

今回は、江戸幕府の年寄青山成重・安藤重信・土井利勝・板倉勝重の 4 名が署名して、磯島村のうち 3 石分の土地の支配を承認した手紙を紹介しました。これは市史資料室が最近入手したのですが、残念ながら宛先が切り取られていたため、誰に対して支配権を認めたのかは不明です。また『枚方市史』のどこをみても、磯島村のうちで 3 石の土地を支配した領主は見当たりません。

そこで、江戸幕府の歴史をまとめた『徳川実紀』で手紙の日付である慶長 17 年（1612 年）12 月 2 日条をみると、「京八幡公文所に御黒印を下さる（中略）また青山図書助成重・安藤対馬守重信・土井大炊頭利勝・板倉伊賀守勝重連署の下知状をさづく」とありました。この日、石清水八幡宮の公文所に対して徳川秀忠の黒印状と幕府年寄の下知状が与えられたというのです。しかし、公文所領は 3 石ではありません。

石清水八幡宮の領地は、表向きは一括されていますが、その内実は公文所を始めとする八幡宮内の諸機関や、百を超える寺や人に細分化されています。どうやらその個々に対して、同日付で一斉に土地の支配が認められたようです。そこで東京大学史料編纂所に行き、関連する古文書の写真帳をひたすらめくり続けると、ついに市史資料室にあるものと文面が完全に一致する写しがみつけられました。しかも、宛先が切り取られる前の状態を写し取っているため、「八幡執行御房」という宛先も判明しました。たった一通の手紙を読むだけでも、ときにはこれだけの手間と知恵が必要となります。

ご愛読ありがとうございました。



各図書館と分室の3月イベント情報

○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会
テキストは未定。お問い合わせください。
➢ 3月17日(土) 午後3時 2階ホール
- 枚方公園分室 成人読書会
鳥越 碧/著 『漱石の妻』
➢ 3月23日(金) 午前10時半



○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図) 3月14, 28日(水)
「0歳のおはなしひろば」午前10時半
「1歳からのおはなしひろば」午前11時10分
- 楠葉(図) 「はじめてのえほん」3月7日(水)
0歳：午前10時半 1歳から：午前11時
- 牧野(図) 「親子で楽しむおはなし会」
➢ 3月21日(水) 午前11時
- さだ(図) 「おはなしいっぱいおはなし会」
➢ 3月21日(水) 午前11時



○工作など

- 釈尊寺分室 「びっくりばこをつくろう」
➢ 3月14, 15日(水, 木) 午後1時~4時半
- 氷室分室 「忍者のぼりをつくろう！」
➢ 3月15日(木) 午後1時~4時半
- 宮之阪分室 「おりがみでルーレットをつくろう！」
➢ 3月15日(木) 午後2時~4時半
- 香里園分室 「ジャンプごま」
➢ 3月17日(土) 午後1時~4時
- 茄子作分室 「ふえふきイモムシくんをつくろう」
➢ 3月21日(水) 午後1時~4時半
- 村野分室 「ビッグヨーヨーをつくろう」
➢ 3月23日(金) 午後1時~午後4時半
- 東香里分室 「カラフルバルーンをつくろう」
➢ 3月24日(土) 午後1時~4時
- 藤阪分室 「パクンかば」
➢ 3月24日(土) 午後1時~午後4時

○その他

- 香里園分室 「手話の会」
➢ 3月9, 23日(金) 午前10時半~正午
- 藤阪分室 「手話の会」
➢ 3月12, 26日(月) 午前10時~正午

(全てのイベントは掲載していません。詳細は各館・室まで)



3月のふれあいルーム(午前10時~午後0時半)

- 中央(図) ぱおぱお 5, 12, 19, 26日(月)
- 香里ヶ丘(図) ハートネット 2, 16日(金)
さくらんぼ 8, 22日(木)
- 菅原(図) ぴよんぴよんうさぎ 4, 11, 18, 25日(日)
- さだ(図) ひよっこ 8, 22, 29日(木), 16日(金)
- 御殿山(図) とこ・とこ 2, 30日(金)
おひさま 9, 23日(金)
- 牧野(図) わくわくパンダ 2, 9, 16, 23日(金)
- 津田(図) きゅーぴーちゃん 7, 14, 21, 28日(水)
- 楠葉生涯学習市民センター(午前9時半~正午)
あかちゃんたんぼぼのおへや 13, 27日(火)

(問い合わせ) 子育て支援室 TEL841-1221(代)

ちょっと紹介

『やこうれっしゃ』(西村繁男 著/福音館書店)
「夜行列車」という言葉が死語になりつつある。近年、新幹線の相次ぐ開業や、安価で本数の多い夜行高速バスの台頭によって夜行列車は次々と廃止され、今では数えるほどになってしまった。今月3月17日のダイヤ改正では、「日本海」「きたぐに」という旧国鉄時代から走り続けてきた伝統の列車がともに廃止。多客時に臨時便として残るものの、大阪駅からは夜行列車がほぼ姿を消すことになる。

本書はまだ夜行列車が全盛期だった70年代から80年代にかけてのとある列車の冬の一晩の様子を描いたものだ。別れを惜しむカップルや風呂敷をさげた御婦人、ビール片手に仲間と談笑するサラリーマンなど、ホームや車内での乗客たちの様子が非常に丁寧に描きこまれており、ページをめくるたびに自分もその列車と一緒に旅をしている…そんな感覚になる。

やがて夜が明けると風景が一変して外は大雪…。まさにこの季節にぴったりの風情である。最後尾から先頭車両に移動しながら並行して列車の旅が進んでいくという趣向もユニークで面白い。

この絵本には文章がない。文字による余計な説明や情景描写を抜きにして、ただただ純粹に絵を見ながら見る人それぞれに違った「夜行列車の旅」を楽しんでほしい。それにしても効率化とスピードが最優先される今の世にあって、こういった味わいのある列車の旅が絵本の中でしかできなくなったのはかえすがえすも残念なことである。

